

相模原市 食品ロス削減にかかるオンライン講演会

「もったいない」を 「分かち合い」～ 「ありがとう」へ



フードバンクかながわ 報告資料

2023年1月25日

公益社団法人フードバンクかながわ
事務局長 藤田 誠



ホームページ

<https://www.fb-kanagawa.com>



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を

《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~

《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ

《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》



フードバンクかながわの現状

2023年1月20現在

- 賛助会員入会状況 初期値(2022.4.1) ⇒ 2023.1.20現在
 - (1) 団体会員 204団体 ⇒ 215団体 (682口:1口1万円)
 - (2) 個人会員 291名 ⇒ 307名 (1,733口:1口千円)
- 寄付金 計画15,000,000円 ⇒ 16,076,026円
- 合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 219社 ⇒ 258社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 58団体 ⇒ 61団体
 - (3) 食品受取団体 223団体 ⇒ 254団体
- フードドライブ回収拠点 299カ所 ⇒ 340カ所



寄贈者



フードバンク
かながわ



支援団体

企業： 様々な理由で販売困難となった
賞味期間残2か月以上の食品を寄贈・提供
行政・企業： 災害備蓄品などの提供
個人： 直送やフードドライブでの寄贈
◆取扱い食品：アルコール類を除く「常温保管可能食品」及び
お米、**冷凍食品（2022年度よりトライアル）**

◆寄贈品の入庫管理・在庫管理・提供団体毎に仕分け・出庫
管理(受渡・発送)
◆「食の支援を必要としている方々」を支援している団体や行
政・社協等に無償提供
◆団体への情報提供

提供食品の受渡し場所は、FB倉庫又は中継拠点まで
各団体から引取りにきていただきます。(送料着払も対応)
※直接、個人にはお渡ししませ

ん。

フードバンクかながわのしくみ イメージ図





パルライン八王子センター

パルシステム平塚センター

ユーコープ座間物流センター(ドライ品)

パルシステム麻生センター

おうちCO-OP相模原センター

おうちCO-OP海老名センター

ユーコープ神奈川県内
77店舗【フードドライブ】
【破袋米】

おうちCO-OP横浜東部センター

おうちCO-OP横浜瀬谷センター
ユーコープシーサイド物流センター
(店舗:冷蔵・冷凍品)

フードバンクかながわ倉庫

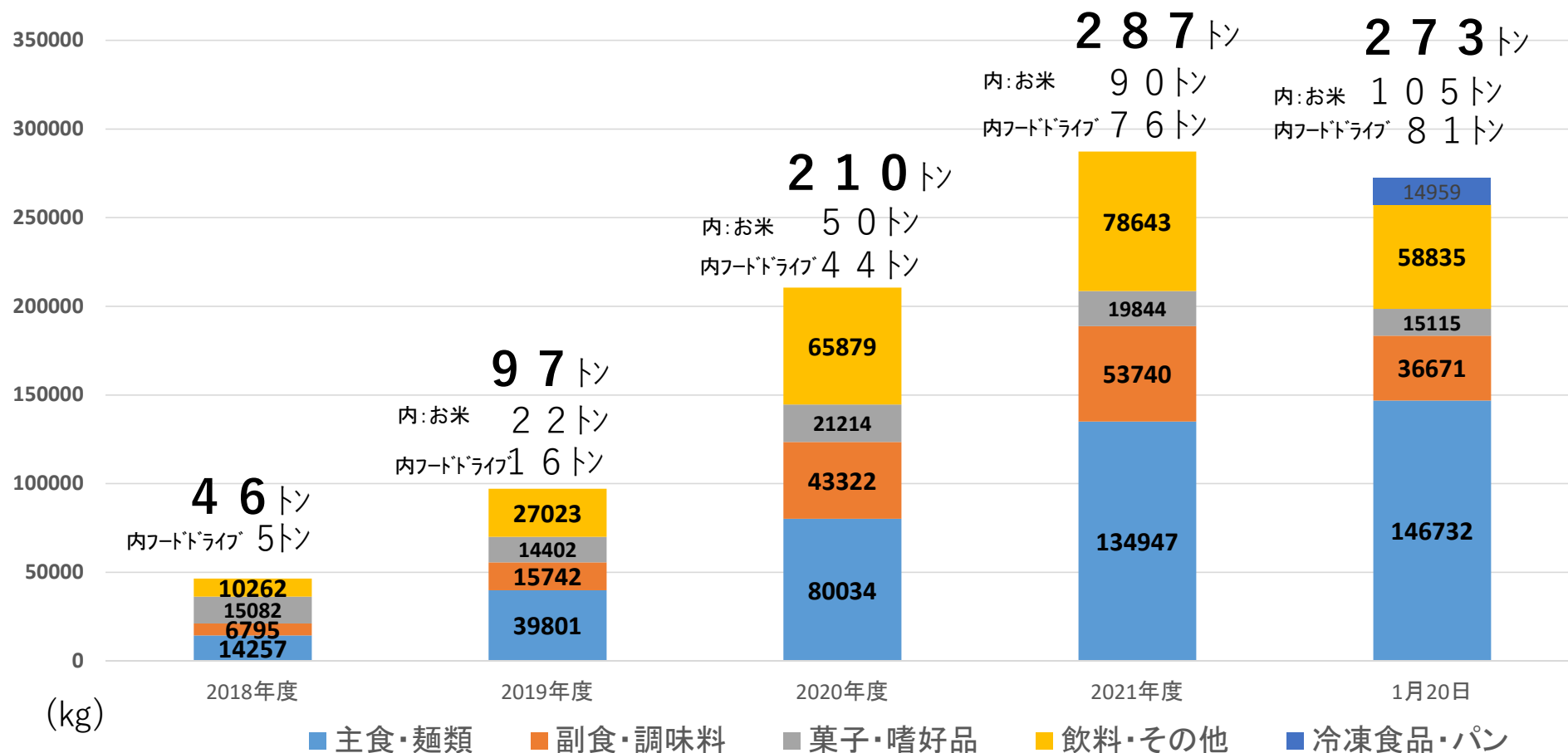
生活クラブあやせ総合センター
綾瀬市吉岡東3-7-9

おうちCO-OP藤沢センター

おうちCO-OP小田原センター

常温食品(ドライ)の物流体系図【中継拠点】

2018-2022年度食品寄贈重量(中分類別)



※その他=ベビーフード、栄養補助食品、野菜、家庭用品など

22.4.1-23.1.20 **フードドライブ実績**

※点検・仕分終了

ユーコープ 78店舗	8320kg
パルシステム神奈川	12520kg
生活クラブ生協	554kg
その他生協(福祉クラブ・ナチュラルコープ・うらがCO-OP)	1354kg
労働関係	6528kg
JA関係	2028kg
神奈川県	1018kg
横浜市(栄区・港南役所)	928kg
横須賀市	341kg
綾瀬市社協	656kg
イトーヨーカドー26店舗	18458kg
そうてつローゼン17店舗	6452kg
イオン2店舗	473kg
無印良品30店舗	5668kg
FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA	109kg
中栄信用金庫	1844kg
小・中・高・大学生	781kg
その他の団体・企業	9016kg
個人(持込・直送341名分)	5171kg
合計	80,715kg



三井住友信託銀行港南台支店



タニタフィットミー保土ヶ谷店



イトーヨーカドーたまプラーザ店



パルシステム(カゴ車49台)

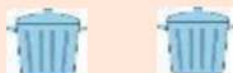


ユーコープ店舗(358箱)

日本の食品ロスの状況（令和2年度）

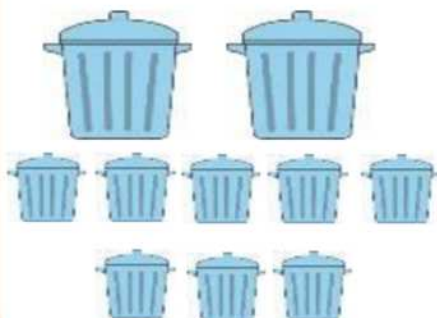
日本の「食品ロス量」

約522万トン



事業系

約275万トン



家庭系

約247万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約113g

※ 茶碗約1杯（約150g）のご飯の量に近い量

年間 約41kg

※ 年間1人当たりの米の消費量（約53kg）に近い量



資料：総務省人口推計(2020年10月1日)
令和元年度食料需給表（確定値）

事業系【外食産業・製造業・卸売業・小売業】の食品ロスの例



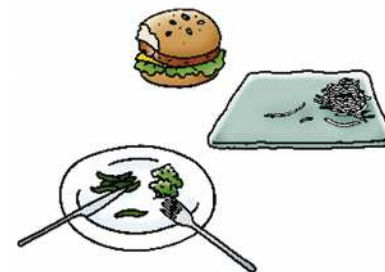
売れ残り

店舗で売れ残ったもの



仕込みすぎ

飲食店で仕込みすぎた料理



食べ残り

飲食店で客が食べ残したものの



納品期限切れ

欠品を防ぐために多く仕入れた商品のうち、期限切れなどで販売できなくなったもの、企業の商習慣(1/3ルール)など。



破損品

輸送過程で中身は何ともなくても、外箱が破損したり汚れて販売できなくなったもの



規格外品

製造過程での印字ミス(賞味期限、消費期限など)や型くずれ等により販売できなくなった食品



製造や加工工程での調理くず

製造過程で食べやすい大きさや容器に入る重量に原料をカットする等で必然的に廃棄される食品

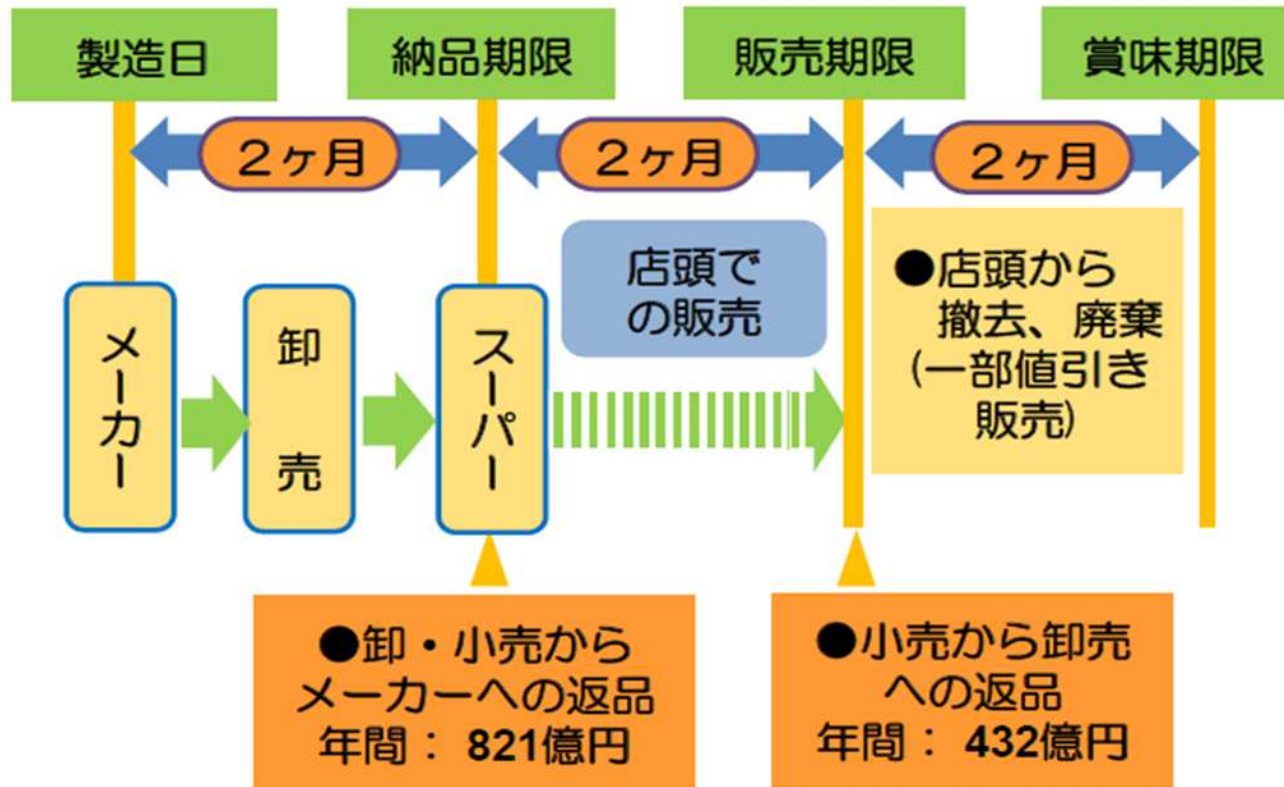


●食品製造業、卸売業、小売業での食品ロス②

食品ロス問題

- 小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間を概ね3等分して商慣習として設定される場合が多く（いわゆる3分の1ルール）、食品ロス発生の一つの要因とされている。

いわゆる3分の1ルールによる期限設定の概念図（賞味期限6ヶ月の場合）



1/3という
商習慣

食べられ
るのに捨
てられる

●欧米の納品期限

国	納品期限 (賞味期限ベース)
アメリカ	1/2残し
フランス	1/3残し
イタリア	1/3残し
ベルギー	1/3残し
(参考) 日本	2/3残しが平均

資料：製・配・販連携協議会による平成26年度の推計結果

神奈川県内の家庭から出される食品ロス(2019年)

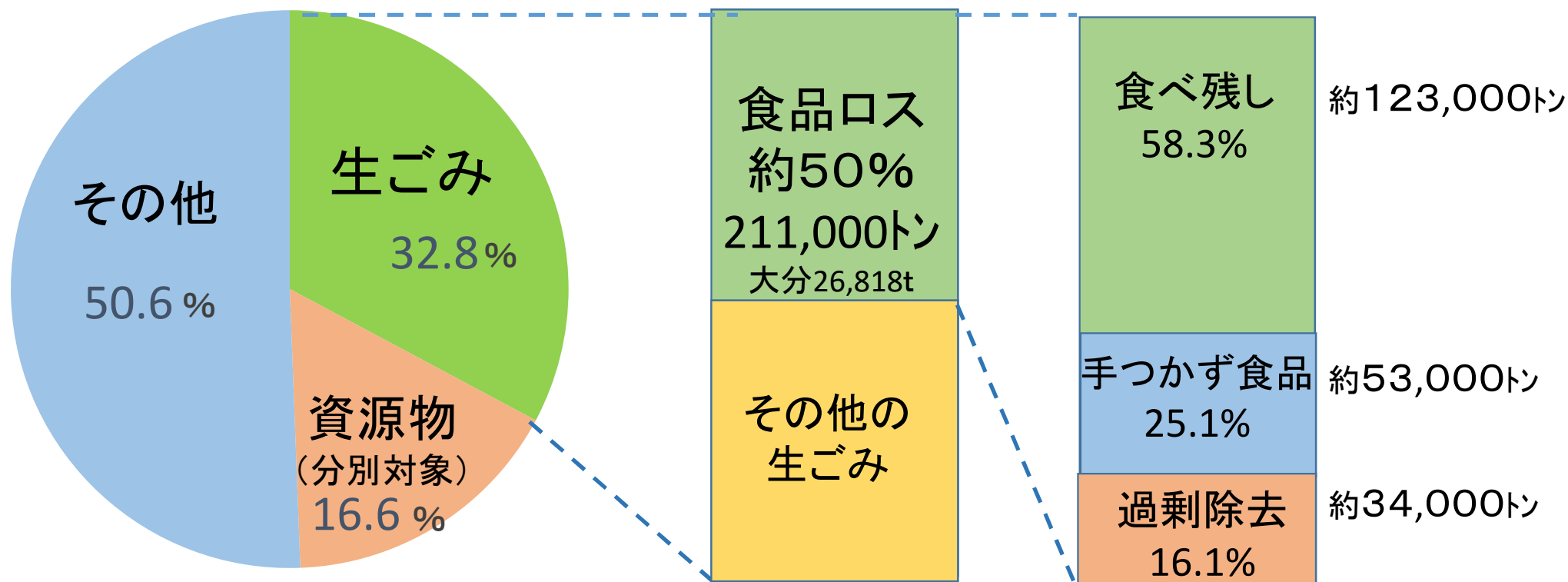
食品ロス発生量=211,000トン/年(事業系:277,000トン/2018年)

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2019年)

食品ロスの種類と発生量(2019年度推計)

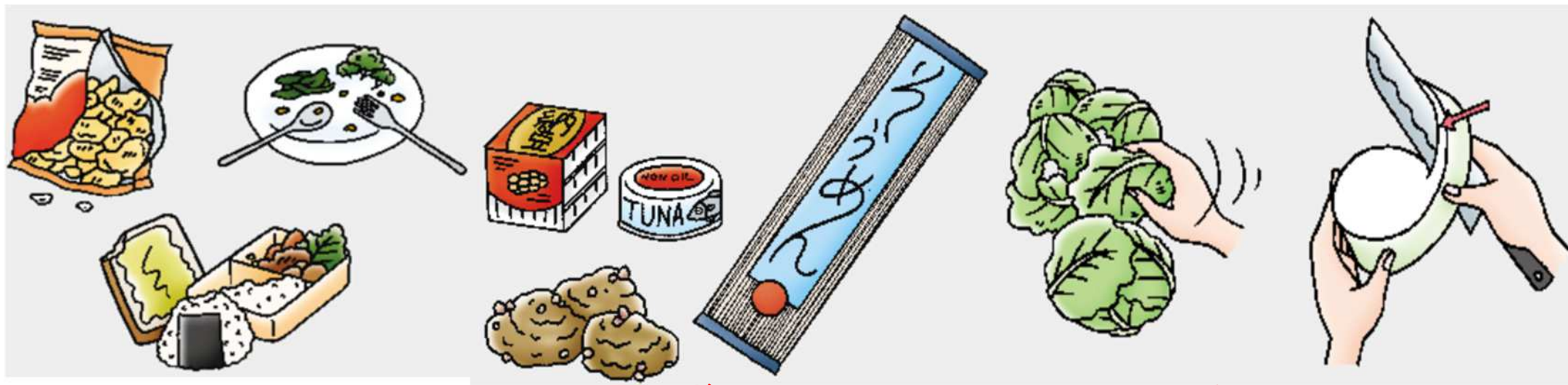


神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2) = 約51,400トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 123,000トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・
ちょっと残し等

◆処理費 = 49.5億円/年

●CO₂ = 31,083トン

手つかず 53,000トン

調理されず、何も手がつけら
れずに廃棄される食品

◆処理費 = 21.3億円/年

●CO₂ = 12,911トン

過剰除去 34,000トン

野菜や果物の皮を厚くむきす
ぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費 = 13.7億円/年

●CO₂ = 8,282トン

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

☆3010（さんまる いちまる）運動

- ✓ 宴会時において、約7皿に1皿相当が食べ残されている状況。
- ✓ 3010運動は、宴会時に「食べきりタイム」を設け、食品ロスを減らす取組。
- ✓ 長野県松本市で平成23年5月から始まり、多数の自治体に広がっている。



宴会での食べ残しを減らす運動です

乾杯後 **30** 分間は席を立たずに料理を楽しみましょう

お開き **10** 分前になったら席に戻って料理を楽しみましょう

京都市の調査によれば、宴会で「幹事からの声かけ」や「卓上POPの設置」の取組を行った場合、取組なしにくらべて、食べ残し量が**約4分の1**に。
(調査対象数が少ないため一般化はできないことに留意)

【地方自治体の取組（松本市、佐賀市）】



	調査対象 宴会(回)	参加人数 (人)	食べ残し 総量(g)	平均1人当たり 食べ残し量(g)
取組あり	4	59	417	$\frac{1}{4}$ 7.1
取組なし	5	107	3,315	31.0

【3010運動テーブルトップ（環境省・農林水産省）】



資料：第60回京都市廃棄物減量等推進審議会（平成29年3月28日）

2020年3月～コロナ禍でのフードバンク活動

販売期限・イベント中止等 による寄贈増

コカ・コーラから飲料類、日本農産工業株から卵スープ



農水省仲介



給食用の牛乳

休校により給食用牛乳が余剰となり、全農はロングライフ牛乳200ml（賞味期限約2か月）にして農水省経由で提供する。5月半ばから取り組み予定。

機内提供品

飛行機の便数が減り、提供できない機内飲み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止

合同会社rakusouより特別仕様のラムネ（飲料）7500本を寄贈。



メリーチョコレート

フードバンクかながわは 寄贈と提供マッチング

(株)ツクイ創業50周年記念
DAY・マリノス・フロンターレ戦
で配布予定だったお菓子(森
永ハイチュー特別仕様)1万
個を寄贈。フードバンクかな
がわでは、今急増中の学生
支援、子ども支援に活用。



鎌倉紅谷 追加寄贈 8t強
3850万円分の銘菓を寄贈。
コロナ重症患者を24時間受け
入れる横浜市立医大病院に
1t分を贈呈
エレベーターがきしみ、管理
課から電話が・・・

給食用お米 649kgの寄贈
開成町で2つの小学校で使
う予定の給食用米が余剰
となり、寄贈





2021
日本農産工業(株)より100万円の寄付金につづき、ヨード卵光のたまごスープ、ふかひれスープ22000袋を寄贈いただきました。



2021
(株)セブン&アイ・フードシステムズ(デニーズ)より、メニュー改変に伴う余剰品を鳥浜駅前のデニーズの集めて頂き、寄贈を受けました。



神奈川県共同募金会の中島事務局長と細川担当が企業からの寄付品を持参いただきました。また、同会より100万円の助成を受け、不足している副食を購入しました。

◆↓訳ありカレールー(1箱14kg)



2021
(株)伊藤園より、ホテル・旅館向けのお茶ティーバックを寄贈頂きました。





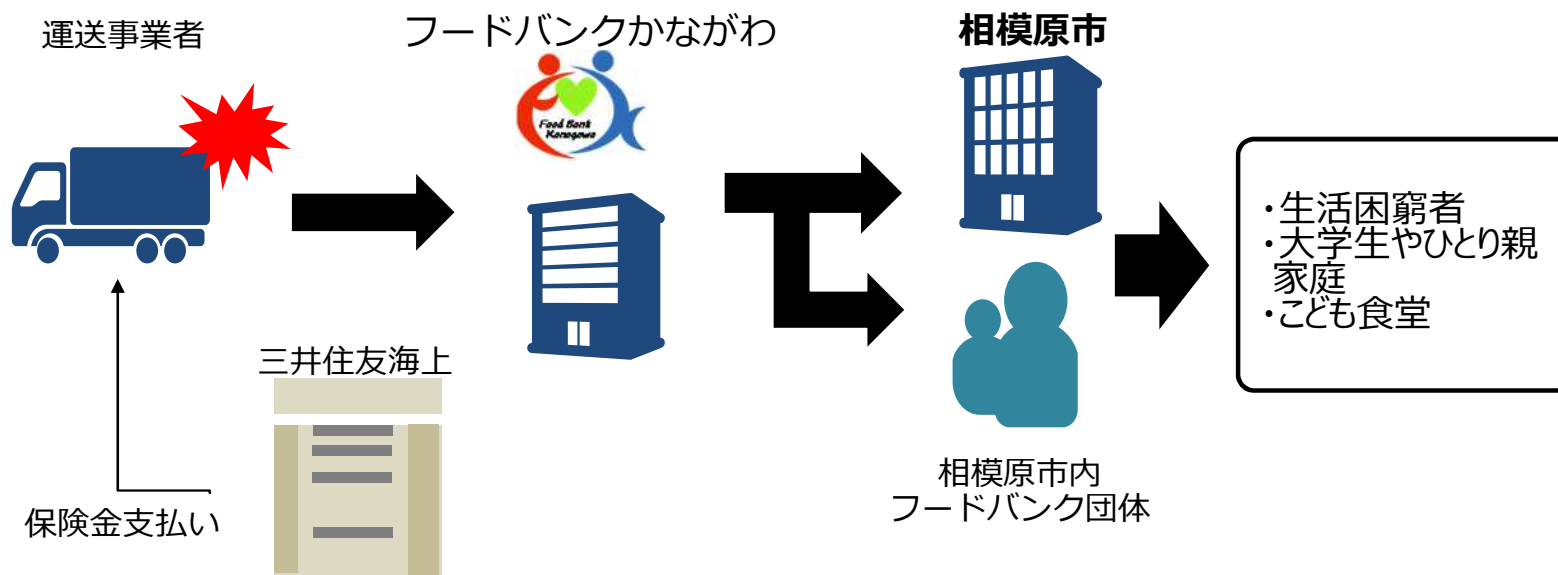
相模原市・三井住友海上火災と食品ロス等の削減に向けた協定締結の概要

三井住友海上火災保険株式会社が提供する運送保険「フードロス削減プラン」に加入した物流事業者が運送事故を発生させた際、損害品のうち条件を満たす食品等を公益社団法人フードバンクかながわに寄贈することで、食品ロス等の削減や、市内生活困窮者等の支援につなげるもの。



食品ロス等の削減に向けた協定締結式2021.10.8

- 写真左から
- ・フードバンクかながわ 吉坂代表、當具代表
 - ・相模原市 本村市長
 - ・三井住友海上火災 山本神奈川支店長



- ・生活困窮者
- ・大学生やひとり親家庭
- ・こども食堂

新たな取り組み：冷凍食品

休眠預金活用助成により冷凍食品取り扱いを開始



休眠預金助成金で冷凍トラック
(2トン車)を購入



クラダシ経由で
マルハニチロ様
より鶏唐揚げ3トン



助成金にて購入した冷凍ストッカー
を地域のフードバンクに無償貸与



JAさがみ様より冷凍コンテナ寄贈 19

山崎製パン様より毎日100個のパンを寄付 6/1より開始



山崎製パン横浜第一工場より食パン・菓子パンなど約100個を毎日、届けて頂いています。



平塚市立真土小学校5年生



開成町立開成南小学校4年生



横浜市立並木第一小学校 4年生



相模原市立田名小学校5年生



大和市立下福田小学校5年生



相模原市立上鶴間中学校の学習会と米一合運動贈呈式



仙台市立沖野中学校 修学旅行



第一学院高校



森村学園高等部



神奈川県立舞岡高校



大分県立雄城台高校(修学旅行)



東海大学



高崎経済大学



横浜市立大学



神奈川大学法学部



ひろがるフードドライブ

回収拠点300カ所を超える



横浜市立大学Table for Two



神奈川県庁(2回目)



YSCC(サッカーJ3)



神奈川県弁護士会



WE21ジャパンさかえ



中栄信用金庫



JA神奈川県中央会



東京サラヤ(株)



(株)伊達建設



明治安田生命



横浜YMCA



高野山真言宗青年教師会



韓国の労働組合よりマスク



社福いきいき福祉会



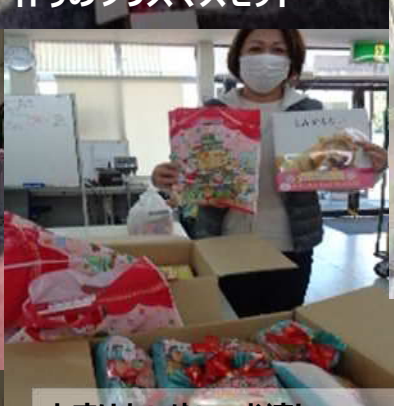
リュウカンパニーからは
手作りのクリスマスセット



Micronメモリージャパン



JA横浜たすけ愛チーム



たすけあいゆいへお渡し



無印良品港南台バース店



満福うえのまち子ども食堂へお渡し



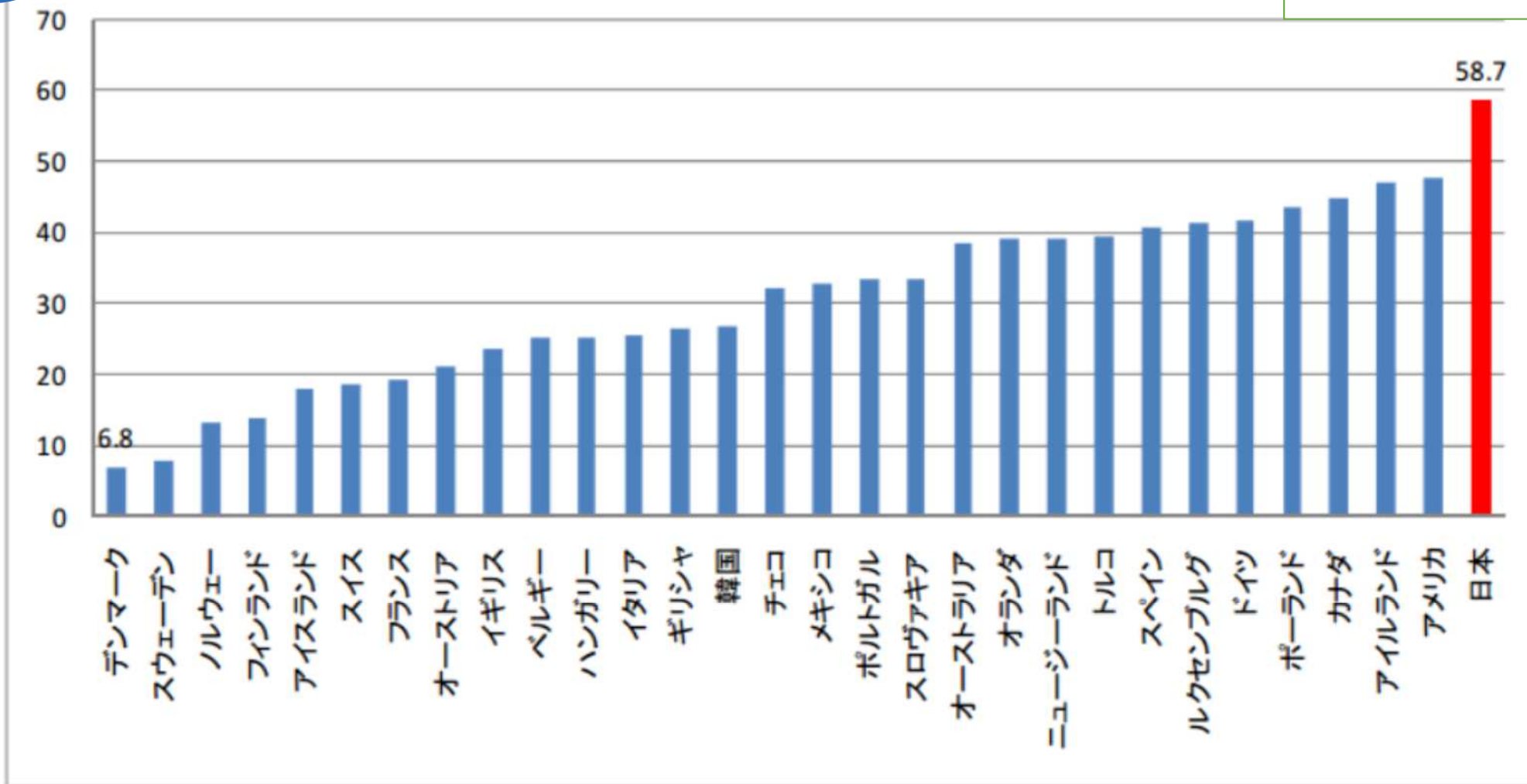
そうてつローゼン





子どもがいる現役世帯で大人が1人の世帯の貧困率

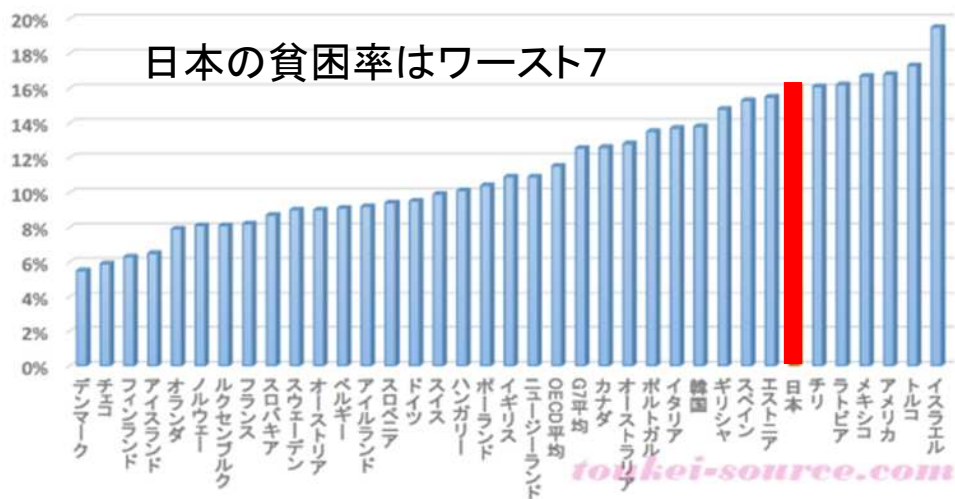
貧困問題



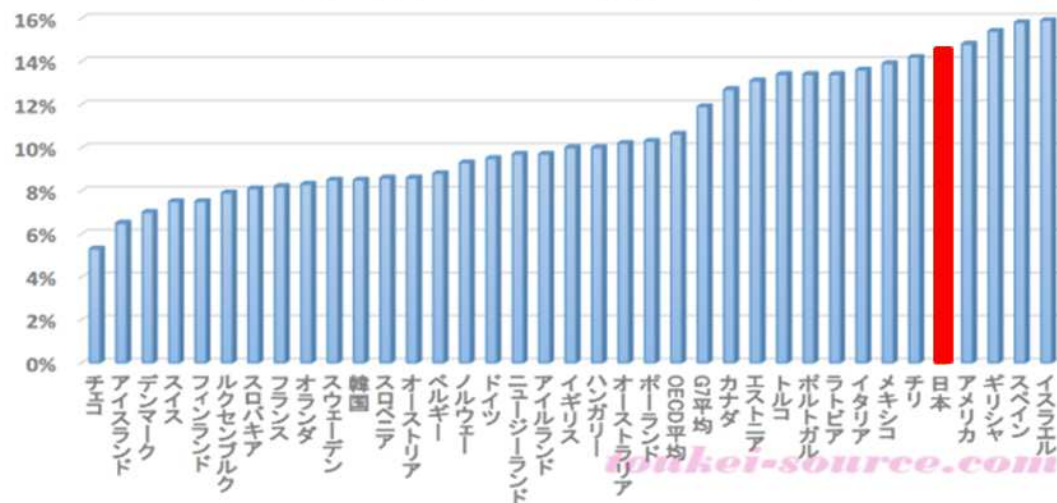


相対的貧困率の国際比較 (対象: OECD加盟34か国)

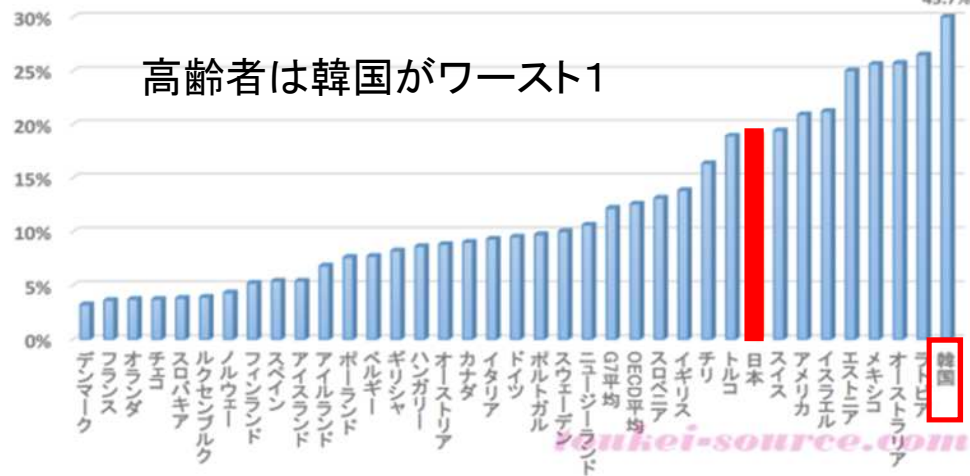
相対的貧困率(2010年代)



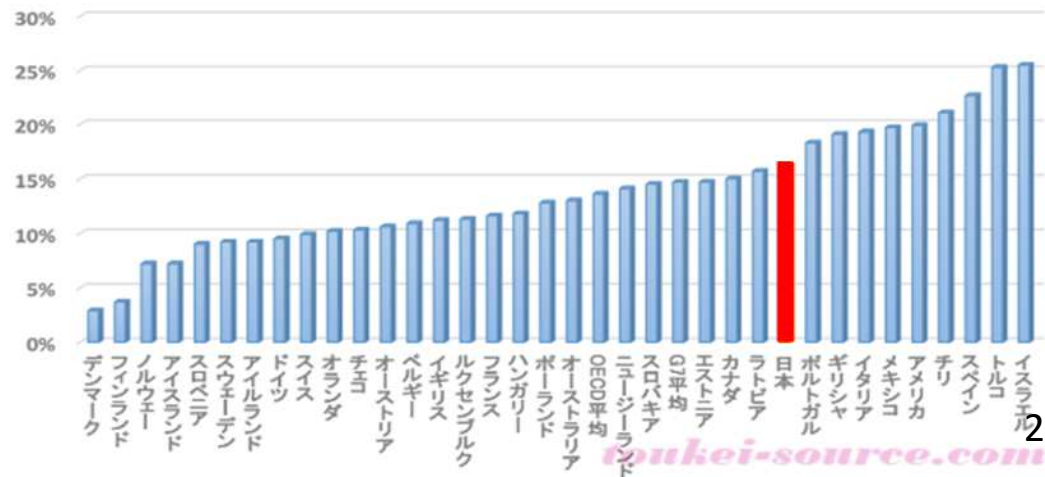
相対的貧困率 18~65歳(2010年代)



相対的貧困率 65歳超(2010年代)



相対的貧困率 0~17歳(2010年代)





貧困の現状

貧困問題

【日本の貧困率】※2019年国民生活基礎調査(OECD基準)

- 相対的貧困率・・・・・・・・・・15.8%
 - 子どもの貧困率・・・・・・・・・・14.0%
 - **子どもがいる現役世帯のうち**
 - **大人が一人の貧困率・・・・・・・・48.2%**
- ※OECD(経済協力開発機構)加盟国中、最下位
- 貧困線・・・・・・・・・・122万円(可処分所得)



【神奈川県現状】 ※2015年国勢調査等 (人口のみ2022年5月)

- ひとり親世帯数 33万世帯(約88万人)
- 神奈川県の貧困率.....16.7%(大分県21.3%)
※山形大学戸室准教授2016年報告(2012年度)
- 神奈川県の最低生活費.....145.6万円(1人)
※全国で最も高い(東京143.7万、大分県101.3万、山梨95.8万)
- 人口.....923.4万人 (大分県110.8万人)
※横浜377万、川崎154万、相模原73万、清川村3千
- 高齢化率..... 25.4%(全国27.4%)
※川崎市中原区15.2%、三浦市40.1%、湯河原町42.8%

推計
154万人

ひとり親世帯の半数が苦しい



食品支援が必要な世帯

くろーばーマーケット(来店型フードバンク)
byさくらんぼ

地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者みなさんも一緒に行っています。





(5) 学生支援

入学はしたものの、友だちもなく実家にも帰れない、アルバイトもないという状況に置かれ、学校には入れず、授業はwebだが、web環境もが整わない学生がいた。学生は住民票を移してない場合が多く、支援対象外となる可能性が心配された（横須賀市福祉部）。

5月になり横須賀市、横浜市社会福祉協議会で支援が始まった。その後相模原市が継続支援し、現在では横浜市立大学が、社協やフードバンク、地域との連携により、支援を継続している。

学生が学生の支援する活動 かながわ学生ボランティア連合

配送費の助成金を取り、留学生などに食品を送る活動と、合せて社協の協力を得てフードドライブを実施し、フードバンクかながわにも寄贈。



横浜市立大学



横浜市社協



川崎市社協



横須賀市役所



相模原市役所

8月8日(日) 9時半~11時半
選手文化プラザさざなみホール
かながわ学生ボランティア連合

フードバンク応援企画

食料をご寄付 くださいの会

ご自宅にある食料 ※長期保存ができるもの
お歳暮などの贈答品
ご自宅や会社の防災備蓄品 など
賞味期限内の食料のご寄付をお願いいたします。
当日会場にご持参ください。
全て2か所のフードバンクにもって行き、必要な方に配布されます。



「かながわ学生ボランティア連合」は、神奈川県在住の学生によるボランティアグループです。現在11名の生徒に囲っている学生に月2回・3か月間食料を自由に送るサポート活動をしています。その食料を寄附いただく「フードバンクかながわ」「湘南国産品フードバンクプラス」で、食料が不足している状況となりました。貴校、食料をいただいている2つの「フードバンク」にご恩返しをしたいと思います。食料ご寄付の企画を考案しました。選手地域で食料のご寄付を集めて、2つの「フードバンク」に食料を持っていきます。ご寄付いただいた食料は、私達のサポート活動や、様々な支援活動に分けられ、必要な方に有効に活用されます。

主催 かながわ学生ボランティア連合 問合せ kanagawa.volunteer@gmail.com 080-5095-5763(長野)
~この活動は神奈川県社会福祉協議会令和3年度地域福祉活動推進事業助成金を受け実施しています~



学生ボランティア連合代表
関東学院大学の中野さん



地域のフードバンクに寄せられた ありがとうの声

ありがとうの声

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ます。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の際にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごせました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

学生からの**ありがとう**の声

●アルバイトの時間も短縮され、お金がなく厳しい状況の中でこのような支援はととてもありがたいと思った。地域の方々に支えられて、学生生活を送っていることを忘れないようにしたいと思いました。

●寄付祖下さり、ありがとうございました。学生のひとり暮らし活コロナの影響で、バイトが全然できていない状況でした。大切に食べさせて頂きます。

●今回初めて参加して、ひとり暮らしなので、たくさんの食べ物を頂きとても助かりました。
とてもうれしかったです。次は自分が社会に貢献できるように頑張りたいと思います。



1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう